

## 中郷中学校と清川中学校の統合について

### 1 経緯

木更津市では東京湾アクアラインの開通による対岸地域への近接性や大型商業施設の開業などの効果もあり、人口が増加しております。特に大規模な宅地開発が進んでいる新興住宅地では、子育て世代を中心に人口が増加し、児童生徒数の急増による過密な状況下の学校がある一方で、少子高齢化が進む地域もあり、2つ以上の学年を1つに編制する複式学級への移行が懸念されるなど、地域間で学校規模の格差が生じています。

そのため木更津市教育委員会では、学校間の教育水準の均衡を保持し、より良い教育環境を整備するため、平成21年3月に「木更津市立小中学校適正規模等審議会」へ「木更津市立小学校及び中学校の適正規模及び本市域における適正配置のあり方に関する事項」について諮問し、平成23年2月に審議会から答申を受けました。

この答申を受け、平成23年10月に「小学校・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」を策定しました。それにそった形で平成26年4月に真舟小学校を開校し、児童数が急増した地域における小学校の適正規模及び適正配置を実施してまいりました。

このような中、平成27年1月に国の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」が策定されたことなどから、更なる小中学校の適正規模及び適正配置を進めるため、基本方針において、「児童生徒数の推移を見ながら、統合を含めて検討する」とされていた小学校2校、中学校2校の今後を定めた「木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画」を策定しました。

内容については以下の通りです。

- (1) 実施の時期は、平成28年度から平成31年度までの4年間とする。
- (2) 適正配置実施の対象校
  - ① 小学校 東清小学校・富岡小学校
  - ② 中学校 中郷中学校・岩根西中学校
- (3) 対象校のうち、「複式学級が生じた」あるいは「複式学級が生じる懸念がある」学校について、次の事項に留意し、統合を実施する。
  - ① 住民説明会の開催  
統合にあたっては、対象校の保護者や地域住民等への説明会を開催し、理解と協力を得て進める。
  - ② 統合準備会の設置  
統合にあたっては、「(仮称) 統合準備会」を設置し、円滑な統合に向け

た準備を行う。

③ 校舎等の跡地活用

学校の統合によって生じる空き校舎等の学校施設は、保護者や地域住民のニーズ等を踏まえ、幅広い視点で有効活用を検討する。

2 木更津市の考える適正規模について

木更津市立小中学校の適正規模は、教育活動による効果、指導の充実、学校施設の現状及び効果的な活用を考慮し、次のように学校規模を定めます。

小学校	1 2 学級から 1 8 学級（1 学年 2 ～ 3 学級）
中学校	9 学級から 1 8 学級（1 学年 3 ～ 6 学級）

（理由）

小中学校ともに全ての学年において、学習内容に適した集団編成（少人数教育）やクラス替えが可能となり、より効果的な学校行事等諸活動が行える下限の規模として小学校 1 2 学級、中学校 9 学級とする。〔9 学級以上の学級を有する中学校については、千葉県教職員配置基準に基づき全教科免許状所有教員及び 5 教科（国・数・理・社・英）の複数教員の配置が可能。〕（「木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」木更津市教育委員会 H 2 3 年 1 0 月策定 H 2 8 年 1 1 月変更）

3 基本方針等に見る学校毎の記載

（1）中郷中学校

①木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針（平成 2 3 年 1 0 月策定）

○生徒数は減少傾向にあり、今後も小規模校のまま推移すると予測されます。そこで、生徒数の推移を見ながら統合を含めて対応を検討します。

②木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針（平成 2 8 年 1 1 月変更）

○生徒数は減少傾向にあり、今後も小規模校のまま推移すると予想されます。そこで、生徒数の推移を見ながら統合を含めて対応を検討します。

③木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画（平成 2 9 年 2 月）

○中郷中学校については、清川中学校と統合します。平成 3 0 年度末をもって統合としますが、平成 2 9 年度入学者が 5 名以下で、1. 2 年生が複式学級となり、特別支援学級を含め、全校で 3 学級が維持できない場合は、平成 2 9 年度末統合とします。

## (2) 清川中学校

①木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針(平成23年10月策定)

○土地区画整理事業により、人口が急増しているほたる野地区が通学区域内にあり、今後生徒数の増加が予測されますが、当面は適正規模校のまま推移することが予測されることから現状維持とします。

②木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針(平成28年11月変更)

○南清小学校の児童数の増加に伴い、今後、生徒数の増加が予測され、施設面で教室不足などの課題が生じるため、隣接校との通学区域の見直しを行います。

③木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画(平成29年2月)

○中郷中学校については、清川中学校と統合します。平成30年度末をもって統合としますが、平成29年度入学者が5名以下で、1・2年生が複式学級となり、特別支援学級を含め、全校で3学級が維持できない場合は、平成29年度末統合とします。